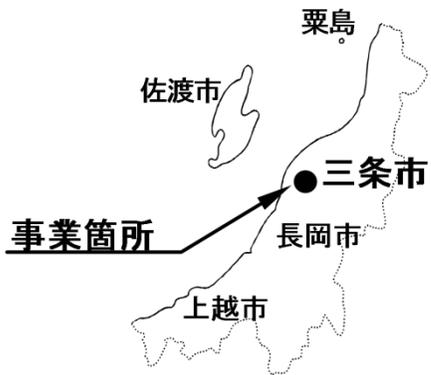


# 第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

ふりがな 応募者名		さんじょうし けんせつぶ けんせつか 三条市 建設部 建設課
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ しんぼうらだてせんどうろかいちくじぎょう 都市計画道路 新保裏館線道路改築事業
	ふりがな 事業主体	さんじょうし 三条市
	ふりがな 実施都市名	さんじょうし 三条市
	事業概要 (400字以内)	都市計画道路3・4・10新保裏館線は、昭和38年12月28日に都市計画決定された市街地の南北軸となる最重要路線であり、このうち平成14年度から着手したアンダー工区(L=530m)の完成により、全延長3,970mのうち、市道西大崎西本成寺線(嵐南バイパス)から国道289号(第二産業道路)までに至る2,920mが結ばれたことになる。
事業規模	○事業延長:530m(アンダー工区) ○事業費:6,654百万円	○幅員:18~30m ○事業期間:平成14年度~平成27年度
事業の目的	五十嵐川とJR信越本線で分断された市街地の南北軸となる新保裏館線を整備することにより、慢性的な渋滞の解消および迂回箇所交通円滑化が図られるとともに、安全かつ快適な都市空間の確保や地域の発展が期待される。	
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	五十嵐川とJR信越線で分断された市街地の南北軸道路ネットワークの形成により、周辺道路の慢性的な交通渋滞解消に寄与している。また、迂回路線は通学路にもなっており、通過交通の排除により歩行者・自転車等の交通事故防止も図られた。なお、当路線沿線には商店や銀行が新規進出するなど、今後も地域の活性化に寄与することと考えられる。
	定量的効果 (検証済の場合記入)	交通量調査結果: ・《当該路線》新保裏館線昭栄大橋地点で増加【68百台/日→102百台/日】 ※H17交通センサス交通量推計とH28三条市調査結果の比較 ・《平行迂回路線》(主)三条停車場線新大橋地点で減少【40百台/日→24百台/日】等 ※同上 →このことにより、平行した迂回路から通過交通が排除され、円滑な交通に寄与していると想定される。
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> <li>・その他</li> </ul> 沿線住民からの念願であった事業であったこと、事業説明を十分に行ったことなどから、用地買収があったにも係わらず、反対者も無く事業の進捗・完成が行えた。	

# 事業位置図

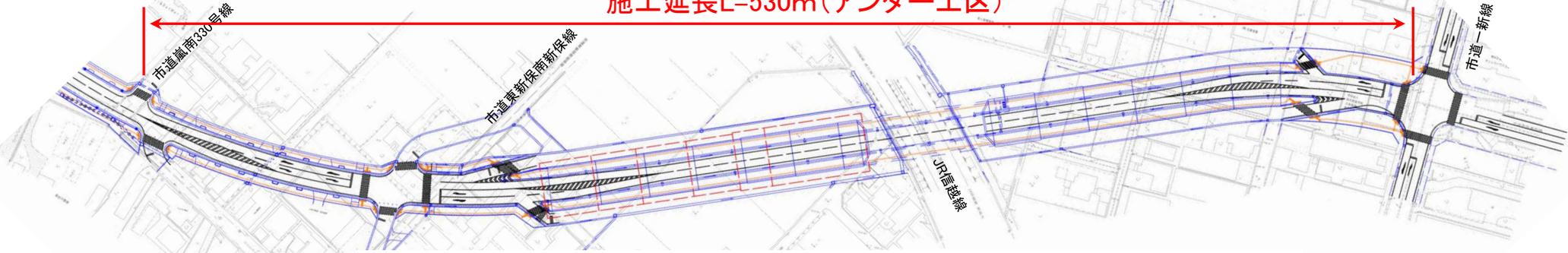


# 全体図(平面図・横断面図・縦断面図)

## 平面図

S=1/2000

都市計画道路 新保裏館線  
 施工延長L=530m(アンダー工区)

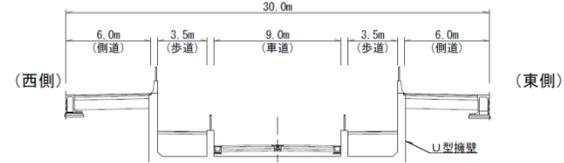
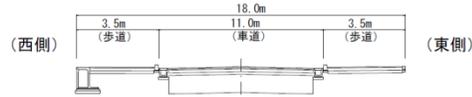


## 横断面図

S=1/400

平面部

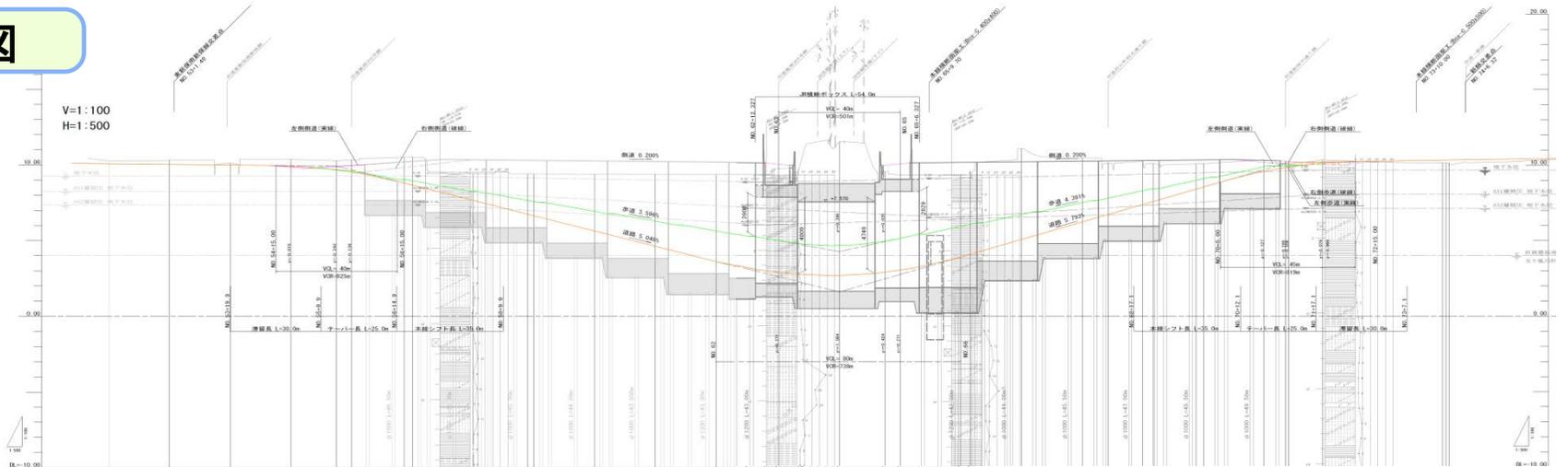
アンダー工区部



## 縦断面図

縦S=1/400

横S=1/2000



# 事業前写真

平成20年4月撮影



(平成25年6月撮影)



整備前のJR信越本線  
との隣接する交差箇所

# 事業後写真

平成28年4月撮影



(平成28年2月撮影(供用前航空写真))



## 都市計画道路新保裏館線の整備効果アピール資料

### ○交通量調査結果

#### 【当該路線】

新保裏館線昭栄大橋地点 **増加** 《アンダー工区供用前68百台/日→供用後102百台/日》

#### 【平行迂回路線】

(主)三条停車場線新大橋地点 **減少** 《アンダー工区供用前40百台/日→供用後24百台/日》

(一)三条四日町線常盤橋地点 **減少** 《アンダー工区供用前101百台/日→供用後47百台/日》

※H17交通センサス交通量推計とH28三条市調査結果の比較

→このことから、平行した迂回路から通過交通が排除され、円滑な交通に寄与していると想定される

### 「整備効果」

上記交通量調査の結果より、

- ・周辺道路の慢性的な交通渋滞解消に寄与
- ・迂回路線は通学路にもなっており、通過交通の排除により歩行者・自転車等の交通事故防止に寄与 等

### 「その他の事業効果」

現在、当路線沿線には商店や銀行が新規進出するなど、今後も地域の活性化に寄与することと考えられる

## 事業効果一覧表

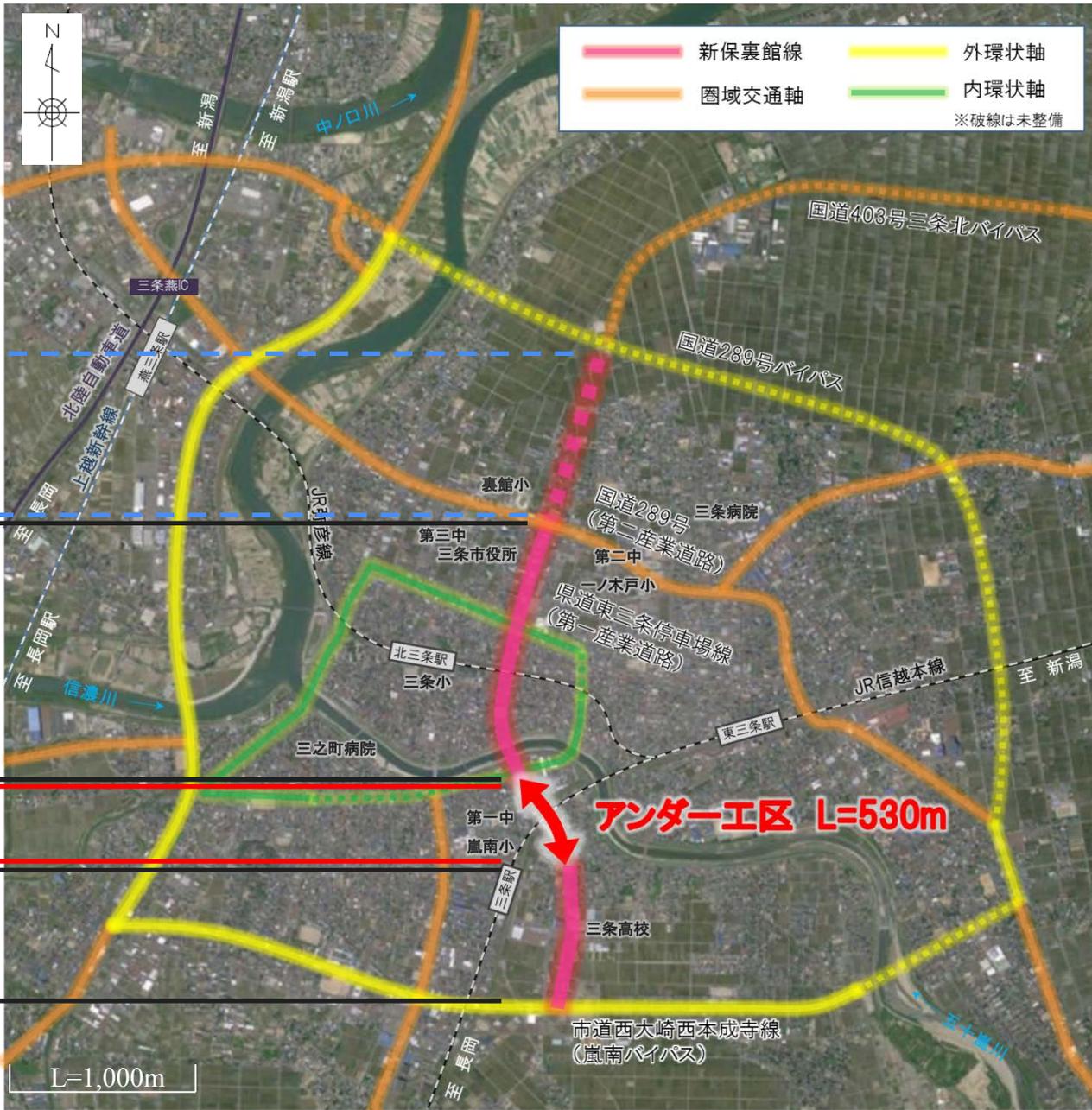
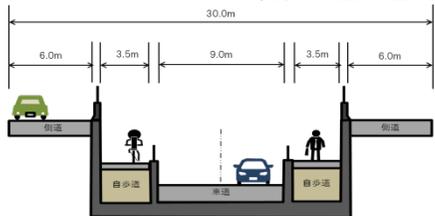
大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備水準の低い地域の改善に寄与した。</li> <li>・道路ネットワークの形成に寄与した。</li> </ul>	◎
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。</li> </ul>	◎
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。</li> </ul>	○
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の防止に寄与した。</li> </ul>	◎
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。</li> </ul>	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。</li> </ul>	○
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。</li> </ul>	◎
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の活性化に寄与した。</li> </ul>	◎
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。</li> </ul>	◎
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道環境の改善や充実に寄与した。</li> </ul>	◎
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。</li> </ul>	△
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。</li> </ul>	△
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。</li> <li>・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。</li> </ul>	○
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。</li> <li>・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。</li> </ul>	△

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

# 路線全体の進捗状況

標準断面(アンダー工区) ※従前断面は全て用地買収



	新保裏館線		外環状軸
	圏域交通軸		内環状軸

※破線は未整備

## 都市計画道路 新保裏館線

総延長L=3,970m  
W=18~30m

未施工区間  
L=1,050m

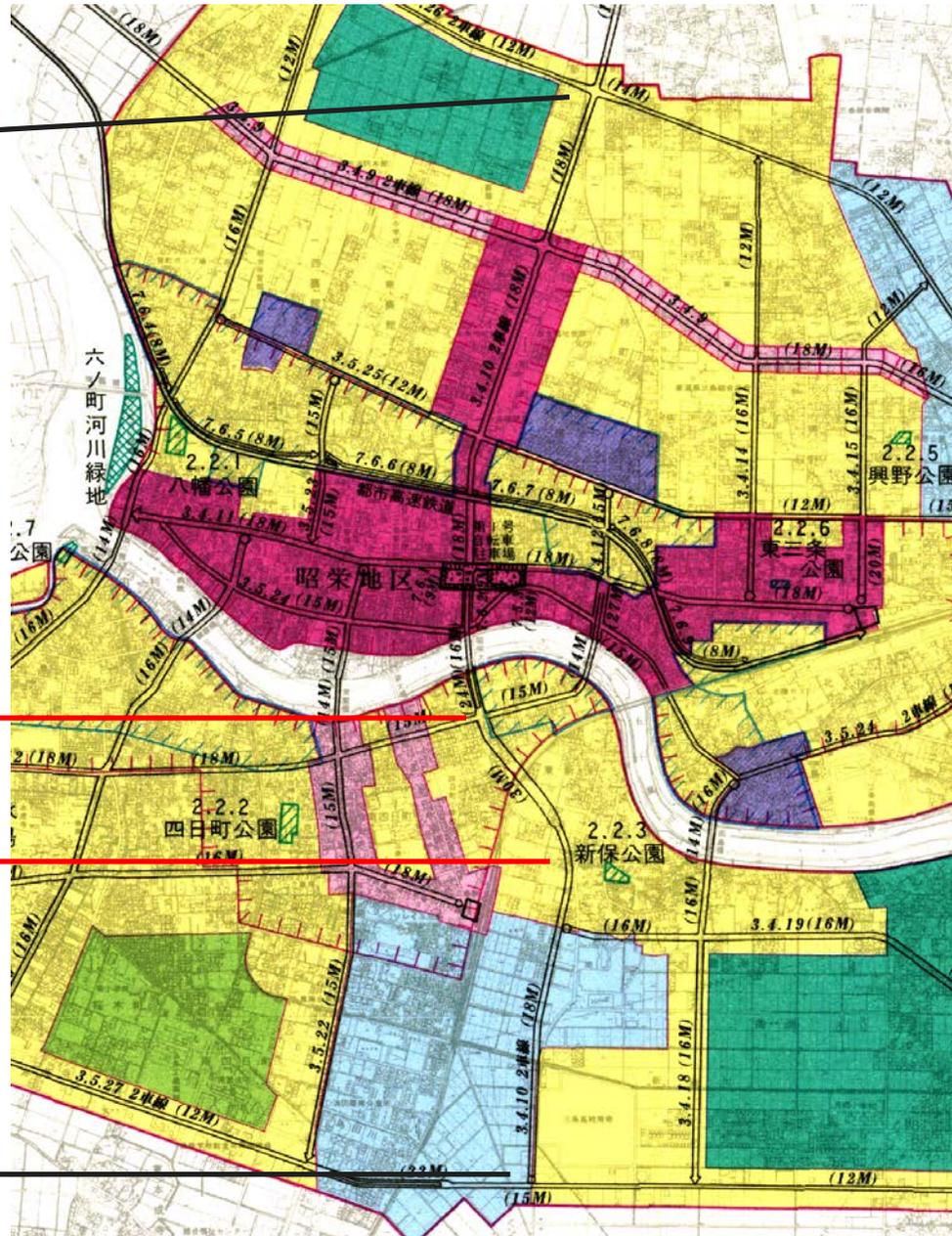
整備済区間  
L=1,450m

今回応募区間  
L=530m 平成27年度完成  
平成28年3月27日供用開始

整備済区間  
L=940m

**アンダー工区 L=530m**

# 都市計画図



都市計画道路 新保裏館線  
 総延長L=3,970m  
 W=18~30m

今回応募区間  
 L=530m

凡 例		
区域・地域	面積 (ha)	備考
行政区域界		
三條都市計画区域	12,101	
三 条	7,579	昭和11年4月1日当初指定 昭和31年12月24日最終変更
栄	4,522	昭和11年4月1日当初指定 (今井・今井野新田) 平成15年4月1日最終変更
用途地域	1,384	昭和42年11月1日当初指定 平成8年4月1日最終変更
準防火地域	358	昭和24年5月14日当初指定 平成8年4月1日最終変更
特別工業地区	112	昭和42年12月9日当初指定 平成8年4月1日最終変更
高度利用地区	2.1	昭和58年2月15日当初指定 昭和59年12月11日最終変更
用途地域	面積 (ha)	建ぺい率 (%) 容積率 (%)
第一種低層住居専用地域	116	50 100 (壁面割合: 3m) (床2階以下)
第二種中高層住居専用地域	47	60 200
第一種住居地域	699	60 200
近隣商業地域	32	80 200
商業地域	131	80 400
準工業地域	77	60 200
工業地域	222	60 200
工業専用地域	60	60 200
合 計	1,384	
無指定地域	面積 (ha)	建ぺい率 (%) 容積率 (%)
		70 200
都市施設	備 考	
都市計画道路	三條 39路線 総~68,295m 栄 2路線 総~7,080m	
都市高速鉄道	昭和64年3月14日決定 JR外彦線 延長4,080m	
都市計画公園	公園14箇所 緑地1箇所	
駅前広場	4箇所	
その他の都市計画施設		
そ の 他	面積 (ha)	備 考
土地区画整理事業区域	51.7	清達園(三條地区)S1.7ha 興地区S6.4ha 昭和55年11月4日当初決定 昭和57年6月11日最終変更
市街地再開発事業区域	2.1	昭栄地区(A地区)1.5ha B-1地区0.6ha 昭和58年2月15日当初決定 昭和59年12月11日最終変更

(注) 本図の地域地区、都市計画道路等の境界は、その概略を示すもので、詳細は「新街路土地区画整理都市計画図」または「三條都市計画図」に備えられた指定図を参照して下さい。